【調査対象施設等:里親・ファミリーホーム、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設】

措置児童の家庭復帰調査 調査票

【記入上の留意事項】

- ・平成30年12月1日(以下「基準日」という。)時点において、児童福祉法第27条第1項第3号の措置(上記の調査対象施設)を行っている児童について記入してください。
- 今回の調査の目的は、「新しい社会的養育ビジョン」(※) において示された内容を踏まえ、大阪市の 社会的養育推進計画策定にあたっての現状とニーズ把握のためです。
 - ・措置中ケースの現状把握(子どもの生活適応状況、家族との交流状況、解除の方向性)
 - ・措置変更の検討ケースがどのくらいあるか など
- ~ (※) 就学前児童は里親委託率を 75%とし、学童期以降は 50%とする目標値や、施設での入所期間を、高度なケアニーズを有するものでも、就学前で数か月、学童期は 1 年以内とし、さらに高度な場合でも 3 年以内とすること、など。

【記入者】

ケース番号	児童氏名			
担当者名	記入者名	□担当者に同じ	□他()

1 こどもの基本属性について

生年月日	平成	年	月	В		性別	1)5	男	②女	
相談種別	①養護(虐待	寺) ②	養護(原	虐待以外)		③非行	④育成			
	⑤その他()	
入所措置•里新	見委託開始日	平成	1	年	月	В				
施設等種別	① 里親・フ	ァミリー	ホーム							
	② 乳児院	3 !	凡童養護	雙施設	4	児童心理	台療施設			
施設等名称										

2 こどもの入所・委託措置について

(各区分は支援学校等を含む)

			又汲于似守で占む
	① 義務教育終了前		
	②中卒後年齡児未満		
世後口の小部	③ 中卒・高校中退		
基準日の状態	④ 高校在学中		
	⑤ 大学、短大、専修学校		
	⑥ その他 ()		
措置変更での開	開始の場合は、連続する最初の措置の開始日 平成	年 月	
基準日時点で、	今後も必要と考える措置期間について(あてはまる選択肢	<u>を一つ</u> に0	をつける。)
① 3か月未満	② 3か月以上~6か月未満 ③ 6か月以上~	1 年未満	
④ 1年以上~	3年未満 ⑤ 3年以上		

※ただし、乳児院に入所のケースについては、引き取りまでに要する期間を選択してください。

3 基準日、直近の子どものケアニーズについて

※子どものケアニーズについては、直近の保護状況調査や対象施設とのやり取りで確認できている状態を選択してください。今回の調査のためにあらためて確認する必要はありません。

支援が必要な行動上の問題及び症状等について(よくあてはまる行動について、〇をつける。複数回答可。)

[危険な行為]

①幼児の徘徊、②火遊び、③自傷(抜毛・頭を壁に打ち付ける・リストカット等)

④他害行為

[危険認識の欠如] ⑤危険認識の欠如

[触法・ぐ犯行為] ⑥金銭持ち出し、⑦家の外での盗み、⑧暴力行為、⑨動物虐待、⑩器物破損、

⑪飲酒・喫煙、⑫薬物 (シンナー・麻薬・覚せい剤等)、⑬深夜徘徊・無断外出、

4)性加害 (1)放火

[特別な支援が必要な行動]

⑥摂食障がい(拒食・過食・異食等) ⑦強いこだわり(日課がスムーズにできない等)

18同じ行為を何度も繰り返す (強迫行為)

⑩多動・注意欠如(衝動的でじっとできない等) ⑩性問題行動

[意思疎通の困難性]

②嘘を繰り返す ②養育者や支援者に反抗・挑発する

②行動が改善しない・できない ②長時間続く甘え・ぐずり

②長時間泣き叫ぶ ②固まる・黙り込む

[精神的症状] ②抑うつ状態 (イライラしたりふさぎ込む等) 図自殺願望

[身体的症状] 29医学的に原因を特定できない身体的不調の訴え (頭痛・腹痛、吐き気、発疹等の訴え)

⑩心臓疾患 ⑪ダウン症児 ⑫未熟児 ⑬新生児薬物離脱症状

[登校状態]
到病気、経済的理由以外の30日以上の不登校

[性被害] ③性被害の経験

発達上の支援課題 (疑いを含む) 等について (あてはまる <u>選択肢すべて</u> に〇をつける。)						
①月齢相当でない	③重症心身障がい	⑦身体障がい				
②-2SD 以下又は発育の伸び	④知的障がい	⑧その他(LGBT への支援等				
の顕著な低下	⑤発達障がい(ASD,ADHD,LD等))				
	⑥精神障がい (発達障がいを除く)					
心理的課題 (疑いを含む) について (あてはまる <u>選択肢すべて</u> に〇をつける。)						
心理的課題(疑いを含む)について	て(あてはまる <u>選択肢すべて</u> にO	をつける。)				
心理的課題 (疑いを含む) について ①愛着障がい (反応性)	て(あてはまる<u>選択肢すべて</u>にO ②愛着障がい(脱抑制型)	をつける。) ③家庭環境への拒否				
	<u> </u>	<u> </u>				
①愛着障がい(反応性)	②愛着障がい(脱抑制型)	③家庭環境への拒否				

必要な医療的ケアについて(あてはまる選択肢すべてに〇をつける。)

- ① 医療的行為(インシュリン・成長ホルモン注射等)
- ② 食物アレルギーの除去食対応 (エピペン注射対応を含む)
- ③ 病児食対応 (小児糖尿病·腎臓病等食事療法)
- ④ 処置等の介助(たん吸引・発作時の対応等)
- ⑤ 頻繁な通院介助(1週間に3回以上、長時間等)
- ⑥ 精神科への通院介助
- ⑦ 服薬管理(例えば常時・定期的に必要等)
- 察育指導・訓練(運動機能訓練、言語機能訓練、視機能訓練、補聴訓練等)
- 9 その他()

))

4 家族との交流状況(直近1年の保護者の状況)

有	無(期間:約 年 月)	無の場合、今後の見通しに
1)面会頻度	①保護者不明(棄児)	チェックを付けてください。
a. 1か月に 回程度	②死亡	
b. 年間に 回程度	③行方不明	□ 改善の見込みあり
②外泊頻度	④虐待による面会禁止・制限	
a. 1か月に 回程度	⑤子どもが拒否	□ 改善の見込みなし
b. 年間に 回程度	⑥保護者が拒否	
③面会•外泊状況	⑦保護者の都合(拘留・病気・	
a. 定期的な面会・外泊	仕事)	
b. 不定期的で保護者都合	⑧子どもに関心がない	
により不安定	⑨自信なく子どもを敬遠	
c. 悪影響な関わり(暴言	⑩児相と対立	
• 威圧など)		
④面会・外出時の支援・配慮の		
必要性		
a. 有 b. 無		

5 基準日時点での保護者の意向(今後の方向性について) 複数回答可

- ① 引き取り希望(a.引き取り時期の希望がある b.具体的な時期の希望はない)
- ② 引き取り困難(保護者自身、現在の措置継続を希望している)
- ③ 里親・ファミリーホームへの措置変更について(a.同意 b.明確に拒否 c.不明確)
- ④ その他の措置変更を希望(a.種別変更 b.同種別の別の施設 c.その他(
- ⑤ 決まっていない、または確認できていない。

6 現状で里親・ファミリーホーム(FH)に措置変更できない場合、その理由について (あてはまる<u>選択肢すべて</u>に〇をつける。)

- ①養子縁組について保護者同意が得られない
- ②里親・FH 委託について保護者同意が得られない(里親委託を拒否)
- ③里親・FH 委託について保護者同意が得られない(きょうだいと同一施設を希望)
- ④里親 FH 委託では保護者対応が困難と判断した(子どもを連れ戻すリスクがあり安全確保のため)
- ⑤里親・FH 委託では保護者対応が困難と判断した(里親に対する個人攻撃のおそれなど)
- ⑥適当な養子縁組里親が確保できない
- ⑦適当な里親が確保できない

(理由:a.子の対応 b.親の対応 c.男女年齢別に合う受け入れ先がない)

- ⑧以前、里親・ファミリーホームでうまくいかなかったことがあった
- ⑨子ども自身が拒否(a.里親・FH の拒否感 b.現在適応しておりかわりたくない)
- ⑩子どもの特性に応じた専門的な対応が必要だった(医療面・心理面・生活指導面)
- ⑪それ以外の専門的な対応が必要と判断(保護者指導・助言・家庭復帰支援など)
- (2) 今年度中に家庭復帰の目処がついている
- (13) その他()

7 基準日(本調査)時点で、現在実施中もしくは今後必要と判断する保護者の支援について (あてはまる選択肢すべてに〇をつける。)

①家族関係の調整支援	⑤生活困窮への支援(就労支援含)	⑩病気治療等の支援
②保護者交流までのプログラ	⑥適切な関わり方の習得	⑪育児手技等の支援
△(手紙・ビデオレター)	(ペアトレ)	12市区町村の子育て支援サービス
③これまでの養育の振り返り	⑦適切な関わり方の習得	⑬障がい支援サービス(ヘルパ
を支援	(個人・グループカウンセリング)	ー利用など)
④生活能力の回復を支援	⑧精神科医療(服薬治療)	⑪収監中などで支援に工夫が
	⑨精神科医療(カウンセリング)	いる
		15その他 ()

- 8 基準日(本調査)時点の措置・委託解除の方向性について (もっともあてはまる選択肢一つに〇をつける。)
 - ① 【家庭復帰】面会、外出、外泊を繰り返す中で、元の養育者宅への復帰をめざす
 - ② 【家庭復帰】母子生活支援施設を利用した家庭復帰をめざす
 - ③ 【家庭復帰】面会、外出、外泊を繰り返す中で、別の家族・親族・知人宅の復帰をめざす
 - ④ 【自立支援】家族とのつながりを持ちながら自立をめざす
 - ⑤ 【自立支援】家族とのつながりを持たずに自立をめざす
 - ⑥ 【養子縁組】家庭復帰の見通しがなく、(a.特別養子縁組 b.養子縁組)をめざす
 - ⑦ 【措置変更】施設種別変更など措置変更(a.施設へ b.里親・FHへ)をめざす

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。